森の風の記憶

3月31日発行 まちむら応縁倶楽部 令和元年度 春号(通巻89号)



エコツア・ 第170回

古の技を知る! 日帰りコース

山のルールを学び、春を味わう! 山菜採りと アケボノツツジ鑑賞 日帰りツアー

山菜採りのルールとマナーを学びながら、春の恵み をいただきます。今回は、キャンプ場にて食べたい 分を自分で揚げるアツアツ方式!

お食事の後は、諸塚山を西登山口より5分ほど登り、 頭上から降り注ぐように咲くアケボノツツジを鑑賞 します。歩きやすい靴と動きやすい服装でお越しく ださい。

※新型コロナウイルス感染防止のため、屋内には入らず、定員 を10名までといたします。

※現在開催を検討中です。状況を見つつ、4月16日までに判断 する予定です。お申込みのお客様には、決定後個別にご連絡を 差し上げます。

詳細

集合: 4月25日(土)10時 解散: 4月25日(土)15時

定員: 10名※先着順

最少催行人数 8名 ※現地ガイド同行有

会場: 諸塚山 渓流の里、他

代金: 3,000円/人

(昼食代・ガイド代・体験料込)

※料金は全て税込です。 ※小学生までのお子様の代金は

お問い合わせください。 ※3歳までのお子様は無料です。

申込期限 4月16日(木)

詳

糸田





エコツアー 。 _{諸塚で}やま学校しよう! 第171回 田舎暮らし体験!

1泊コース

諸塚伝統の釜炒り茶を学ぶ2日間 お茶摘みからの 釜炒り茶体験

体験・宿泊会場は、歴史ある古民家。2日間かけて、お茶 摘みから釜炒りまで村の先生を迎えて体験します。 いつも飲んでいるお茶とは一味違う釜炒り茶をどうぞ! 集合: 5月9日(土)13時 代金: 8,000円/人

※料金は全て税込です。 解散:5月10日(日)13時 ※相部屋をお願いする場合が

定員: 10名※先着順

最少催行人数 4名 ※現地ガイド同行有

ございます ※お子様・日帰りの代金はお問い合わせ

ください。

会場: 森の古民家 やましぎの杜

申込期限 4月30日(木)

お申込・詳細はコチラ [TEL] 0982-65-0178 http://morotsuka-tourism.jp

〈発行元〉 送付をご希望の方、送付中止をご希望の方は、下記までお知らせください。

一般社団法人 **諸塚村観光協会 まちむら応縁倶楽部** TEL: 0982-65-0178 FAX: 0982-65-0189

〒883-1301 ecom@vill.morotsuka.miyazaki.jp 宮崎県東臼杵郡諸塚村大字家代3068 しいたけの館21内



twitter









Morotsuka Vill.

中止

facebook

昔日のリアルやま学校

コラム連載番外編 『大変な事に』

12月の通巻88号を書くときは、想像すらしなかった「新型コロナウイルス 感染症」の蔓延で世界中がパニック状態になりました(3月14日現在)。 諸塚村でも3月1日の「諸塚山開き」、3月14日の「森林認証祭り」、4月の 「池の窪クロスカントリー大会 | が中止になりました。

今後、各集落の春祭りシーズンですが、例年通りの開催は難しいと 思います。村内に3地区、団七踊りが伝承されていますが、これの奉納 も危ぶまれます。

此処に立ち至っては、うがい、手洗い、マスクの着用に、十分な睡眠と バランスの摂れた食事等(免疫力アップ)に気を付けたい所です。

どうか次号の発行される頃には、見通しが立つことを祈りつつ皆様の ご健勝をお祈り申し上げて終わります。 尾形



団七踊り



山開き名物のウッドカット

森の村にやってきた **宮崎大学** 新時代を生きる**診域のわけもん**達

宮崎大学 地域創生学部の学生さん

2月17日(月)~3月13日(金)の約1ヶ月間、インターンシップが行われました。 観光協会2名・もろっこはうす2名・役場1名に分かれ、それぞれがテーマを掲げ、 様々な体験を通して、課題抽出と解決策の検討、取材やネット等での情報収集、分析等 を行い、最終日の成果報告会にて各自の取り組みが発表されました。

ここで提案内容を伝えられないのが残念ですが、本当に素晴らしいものでした。この 事業により、インターン生は仕事に対する考え方や業務の流れ、企画立案手法等を 学び、一方で厳しさも実感したのではないでしょうか。受入側は、非常に有益な提案 をいただき、実りある事業であったことを心から感謝しています。

宮崎大学の皆さんには、ご縁あって諸塚村にお越しいただき、交流も含めて双方の 貴重な財産になったものと思います。今後とも「諸塚村 | との繋がりを持ち続けて いただき、情報を共有できれば有難いと思います。

皆さん、本当にお疲れ様でした。そして、今後とも宜しくお願い致します。



宮崎大学 地域資源創成学部 2年生5名と諸塚村長



佐藤





「やま学校」とは、学校に行ったフリして山で遊びると。 昔は誰もが体験した! ?であるう楽しい思い出です。

あるがままの豊かな自然と、そこに生きる人々の暮らしの姿にふれる。 世界農業遺産にも認定された森の暮らしを心と体をフルに使って実体験する、 諸塚ならではの旅に出かけませんか?

エコワアー _{諸塚で}やま学校しょう! 諸塚でやま学校しょう!

古の技を知る!日帰りコース

諸塚を遊ぶ!古の技を、楽しく体験しながら学びます。

時 間:10時~15時 日帰り1食付き

基本価格: 3,000円/人 小学生まで 2,000円/人

(昼食代・ガイド代・体験料込)※追加料金がある場合があります。

※料金は全て税込です。※3歳までのお子様は無料です。

4月25日(土)

山菜採り・アケボノツツジ観賞

7月18日(土)

ブルーベリー摘み・くるくるバームクーヘンづくり

12月12日(土)

かずらリース or しめ縄づくり

2021年 3月6日(土)

みつろう・みつろうグッズづくり

- ※日程・内容は変更になる場合がございます。
- ※お申込みは、諸塚村観光協会(しいたけの館内)まで ご連絡ください。開催日が先のツアーも、事前申し込み をお受けいたします。お気軽にご連絡ください。

今後の状況によって、中止・変更となる可能性もございます。

田舎暮らし体験!1泊コース

諸塚で今も続く、自然と寄り添う暮らしを体験します。

時 間:13時~翌13時 1泊 3食付き

基本価格: 8,000円/人 小学生まで 5,000円/人

(宿泊代・食事代・ガイド代・体験料込)※追加料金がある場合があります。 ※料金は全て税込です。※3歳までのお子様は無料です。

5月9日(+) - 10日(日)

お茶摘み・釜炒り茶づくり

6月13日(土) - 14日(日)

梅摘み・梅の加工品づくり・ホタル鑑賞

9月12日(土) - 13日(日)

鍾乳洞まで森を探検・カヌー体験

10月24日(土) - 25日(日)

かまどで新米炊き・村のお祭りと黒岳登山

11月21日(土) - 22日(日)

柚子摘み・柚子の加工品づくり・手漉き和紙づくり

2021年 1月23日(土) - 24日(日)

しいたけコマ打ち&収穫・干しもの料理教室

プロに学ぶ!民宿1泊コース 日程・内容は未定です。決定次第、HP等でお知らせいたします。

諸塚の基幹産業である林業・椎茸や、狩猟・養蜂等の文化をその道のプロに学びます。夜は、美味しいご飯で交流会。 時間:13時~翌11時 1泊 2食付き 宿泊場所:森の民宿樹の里 基本価格:15,000円/人 18歳以上対象 (食事代・宿泊代・ガイド代・体験料込)※追加料金がある場合があります。※料金は全て税込です。

新型コロナウイルス感染症対策について

2020年3月13日現在

一般社団法人諸塚村観光協会では、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、顧客、地域住民、職員等の安全のために以下の方針と行動計画を定めております。各施設をご利用の皆様には、ご不便をおかけすることもあるかと存じますが、ご理解・ご協力を頂きますようお願いいたします。

お客様へのお願い

- ●消毒・手洗い・うがい・咳エチケットにご協力ください。
- ●ご予約および宿泊の時点でお客様に、体調について、および直近3週間以内の海外への渡航歴等を確認させていただき、「新型コロナウイルス感染症対策の基本方針(厚労省)」に当てはまる場合、ご利用をお断りさせていただく場合がございます。

施設・スタッフの対応管理

- ●消毒・手洗い・うがい・咳エチケットの励行
- ●施設の定期的な換気の実施
- ●体調不良の職員の出勤の自粛、就業前の 健康チェックとマスクの着用
- ●複数の方が使う器具の定期的な交換、消毒



かずらリース手作り体験

2019年12月14日 開催

諸塚の森を歩いて素材を探す今回の体験。ご家族2組、計5名様に お越しいただきました!

家代地区の家代神社と観音山で素材を集め、池の窪グリーンパーク 「えくぼ亭」にてリース作りを開始。かずらが固く、なかなか上手く曲げられ なかったりもしましたが、それぞれ思い思いにリースを作り、ひとりひとり の個性が光る出来上がりに。またのお越しをお待ちしております!



森の恵み ジビエを体感する2日間

2020年1月18-19日 開催



宮崎県内より、男女6名にご参加いただきました。前日の雨のおかげで、 あちらこちらに森に生きる動物の跡が残っています。森を歩いた後は、 簡単な仕掛けをして森の民宿 樹の里さんへ。

猪肉ブロックと鹿の足が皆さんをお待ちかね!初めこそ恐る恐るでした がすぐに慣れて、猟師さん秘伝の「ジビエを美味しく食べる方法」を学び ます。夕食は樹の里さん自慢のお食事とジビエの焼肉。会話が弾む、 楽しい夜でした。

翌朝、仕掛けに異変が!山に生きる獣と猟について知り、ジビエを体感 する2日間。心から楽しんでいただけたようでした。



諸塚村公式ファン倶楽部が発足! NEWS! -「諸塚かてゃーり隊」

令和元年12月7日、首都圏での活動拠点・東京都台東区谷中にある「さんさき坂カフェ」にてファン 倶楽部設立祭が開催されました。当日は、関東各地から諸塚ファンを始め、村と連携する企業や 団体の皆さんが集まり、交流が弾んだとのこと。こちらを会場に、不定期でファン倶楽部の活動が 行われる予定です。また、カフェのメニューにも諸塚から届く旬の素材が活用されています。

設立祭と合わせて、諸塚村公式LINEアカウントとファン倶楽部専用公式SNSも開設されました。 本誌をご覧の皆さんも、ぜひ紙面と合わせて情報をチェックしてみてはいかがでしょうか?



かてゃ - り?

「かてゃりもどし=手間もどし」、「かてゃりごし=交互に」諸塚村史の風俗・方言の説明より。この「かてゃり」、語源は 「糅(か)てる」=「混ぜ合わせる」「まぜる」がなまったものと思われます。近隣の町村にも似たような方言が残って いますが、諸塚では「かてゃーり」と伸ばして使うことが多いようです。

子供の頃、遊んでいる輪に入れてもらいたいときは、「かてて」と言えばすぐに一緒に遊んだものでした。諸塚に 住む私たちと、諸塚以外に住む皆さん、多くの方々が集い「かてて」といえば、「かてゃーり」あって、お世話になったら 「かてゃーりもどし」が気軽に出来る仲間になれる。そんな場所にしたいと思っています。





かてゃーり隊

年年歳歳花相似歳歳年年人不同

この時期になると、頭に浮かぶ漢詩です。昨年まで一緒に飲んだ先輩が偲ばれます。 尾形

生後10か月を超えた息子は、ハイハイを覚えたかと思うと次はふすま開け・つかまり立ちと次々に新技を会得して 家の中を縦横無尽にとんで回っています。諸塚町に新しく出来上がったミニ公園にデビューする日も近い!?かな 田邉

宮崎日日新聞の「ことば巡礼」。いろいろな分野の方の格言めいた「ことば」が記されており、その内容や意図するところ、 本質などが分かりやすく説明されています。この欄を見ることが、私の楽しみのひとつです。 佐藤

現在、国民への現金給付案が検討されています。まだ狸は獲れていないのに、何を買おうか妄想が止まりません。 岩切

